

㊦ ひろみさんは、図3のように、手鏡を用いて、正面にある洗面台の鏡に自分の後頭部をうつしている。図4は、このときのようにすをひろみさんの目の位置をP、後頭部に位置する点をQとし、上から見て模式的に表したものである。Qからの光が手鏡、洗面台の鏡で反射して進み、Pに届くまでの光の道筋を図4に実線（——）でかけ。なお、作図に用いる補助線は破線（-----）でかき、消さずに残すこと。

図3 洗面台の鏡 手鏡

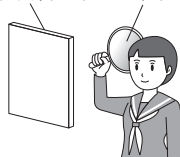
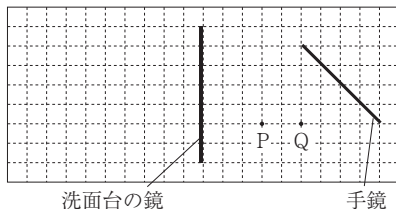


図4



【答】

図イ

